

特集：おらほの農地集積

出来川右岸地区

地区の概要

事業名	ほ場整備事業（担い手育成型）	組合員数	444人
関係市町村名	遠田郡小牛田町、涌谷町	担い手農家	18戸
関係土地改良区	小牛田町土地改良区、涌谷町土地改良区	担い手経営面積	
工期	平成9～14年度	実施前	79.3ha
受益面積	353.4ha	H11年度	103.9ha
総事業費	3,797百万円	担い手農地	
		集積増加率	31.0% (H11)



ほ場整備を契機に7人の夢が実現



涌谷町で施設野菜作りに積極的に取り組んでいる7人の農家が県営ほ場整備事業（担い手育成型）により大型野菜団地（4.27ha）を造成し、梶原秀孝さんを組合長とするアスファ生産組合（Advanced Sevens Farm）を平成10年8月3日に設立しました。

7人はそれぞれ施設野菜と水稲の複合経営を行っている涌谷町の認定農業者で、以前から大型野菜団地を作る夢をそれぞれが持っていたようですが、まとまった土地の確保ができずなかなか実現できなかったそうです。

ほ場整備事業により、畑地造成が認められ、換地（一時利用地指定）により7人に集団化できることになったのを契機にアスファ生産組合を設立しました。

野菜団地の建設にはみやぎの水田農業支援事業、園芸産地拡大推進事業などの補助事業を活用し、井戸や集荷調整等施設の整備、各種作業機械の導入、パイプハウス（平成11年度に67棟、平成12年度に55棟、計122棟）の設置などを2ヶ年の継続事業として実施。

なお、パイプハウス建設に際しては町内の野菜生産部会の仲間が手伝い、建設コストの低減も含め、産地としての連携意識が深いものと感じられました。

また、この野菜団地では小ねぎを年3回、ほうれんそうを年5回収穫し、年間販売額1億円を目指しているとのこと。

取材した1月29日には既に全122棟、小ねぎとほうれんそうが栽培されており、今年度完成したばかりのハウスでも既に収穫が始まっていました。

アスファ生産組合の概要

1) 規模の概略

品目名	ほうれんそう	小ねぎ	計
面積	12,375㎡	17,820㎡	30,195㎡
坪数	3,750坪	5,400坪	9,150坪
ハウス(75坪/棟)	50棟	72棟	122棟



ずらりと立ち並んだ小ねぎとほうれんそうのパイプハウス

2) 機械の保有状況

ローダー……………1台	予冷库（2坪、9坪）……………2台
土壤消毒機……………1台	自動皮むき機（小ねぎ）…1台
真空播種機……………3台	収穫機（ほうれんそう）…1台
動力噴霧機……………3台	サブソイラー……………1台
管理機……………4台	グレーダー……………1台
自走マニア……………1台	土壤蒸気消毒機……………1台

3) 組織運営方針

地域農業の担い手として、生産基盤の強化を図るため7名で組織化、各自が農業者として自立できるような生産体制を確立する。そして、近い将来、各自が1戸1法人として自立し、21世紀の地域農業を担うとともに、地域の産地形成に寄与するような農業経営体を目指す。

このため、次の4項目を基本に組織活動を展開する。

機械の共同利用による生産コストの低減

経営の柱を水稲から野菜に転換し、所得の向上を図るため、機械、施設の共同導入、共同利用を実践し、生産コストの低減に努める。

組織による雇用調整（雇用バンク）

現在、個別に雇用を確保し労働力調整をおこなっているが、雇用確保やコストの面で非効率的部分が多い。このため、今回、組織化し一部共同作業もおこなってゆく計画であることから、各組合員が雇用する部分については組織が一括雇用する。

雇用対象者については、地域の高齢者、婦人等を中心に、リスト化（雇用バンク）し、各組合員の作業状況に応じて、組織が雇用調整し派遣する。

地域後継者の育成及び確保

組織の継続的な発展のため、地域農業後継者の育成を積極的に展開する。特に、各組合員の子弟はもとより、これから農業を志す新規就農者や新規参入者等の研修等を受け入れ地域農業者の確保育成を図る。

共同作業による稲作部門の省力化、低コスト化

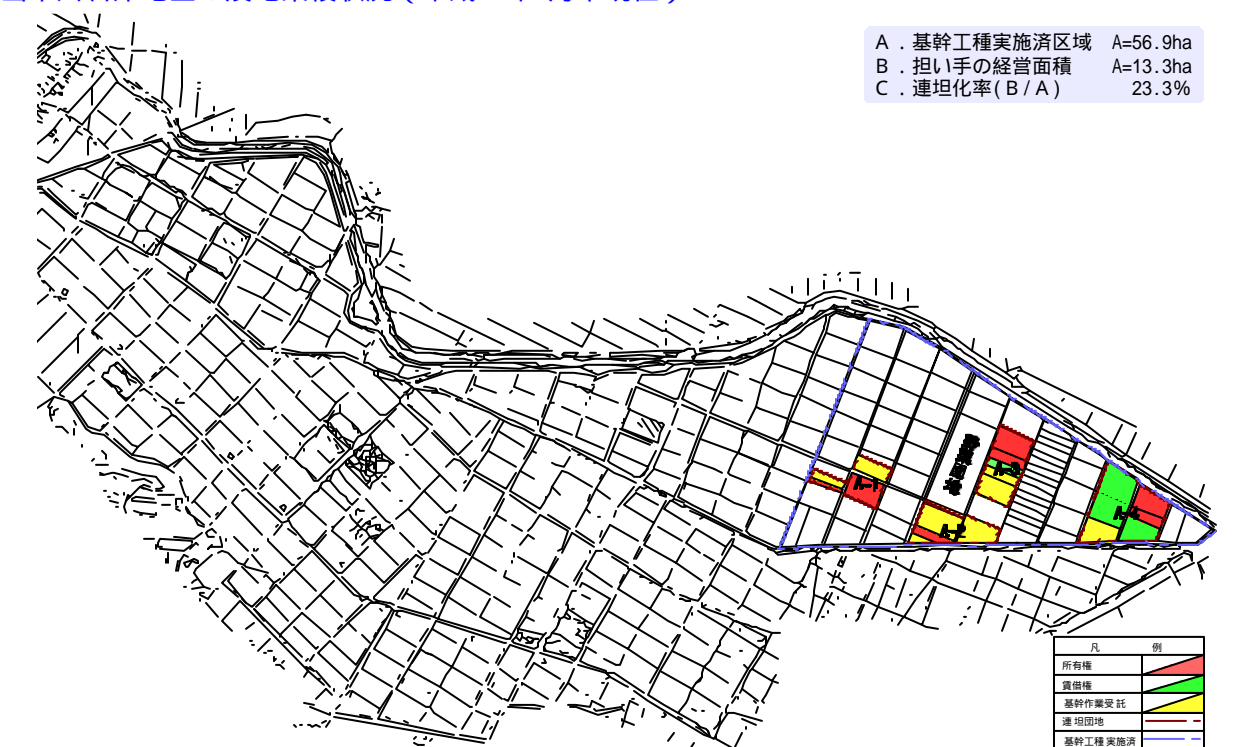
施設野菜と競合する稲作部門については、これまで個別に対応してきたが、本事業導入を契機に水稲部門の作業の共同化を図り、省力化、低コスト化を目指す。また、当組合は、ほ場整備事業（担い手育成型）の区域内であることから、将来的には当該地域の「担い手組織」として、積極的に農作業受託を受入れ、地域農業の振興に貢献する。

それぞれが農業で自立、町も波及効果に期待！

アスファ生産組合を構成する7戸の農家は、それぞれが農業で自立できる経営体を目指しています。今回、組織化したことにより施設園芸の規模拡大を図り、営農の1部共同化を実践し、組織の発展を図りながら、併せて、個別経営体としての充実も図り、将来的には、これらの農家が目標としている1戸1法人として自立できるよう、涌谷町、土地改良区、JAみどりの、農業改良普及センターなどの関係機関も一体となり支援をしてゆく計画になっているそうです。

また、涌谷町ではこの野菜団地が地域におけるモデルの園芸団地として、町の園芸振興、後継者の育成、雇用促進等への波及効果をおおいに期待しているとのことでした。

出来川右岸地区の農地集積状況（平成11年3月末現在）



問い合わせ先

涌谷町産業振興課
〒987-0192 遠田郡涌谷町字新町裏153-2
Tel 0229-43-2111 Fax 0229-42-3313

